

婦人防火クラブ員救急講習会

千葉県 鎌ヶ谷市消防本部

いざに備え救急法学ぶ

「いざ」というときに強い味方となる救急救命技術を習得しようと、主婦らを対象にした「婦人防火クラブ員救急講習会」が10月31日（日）9時より、鎌ヶ谷市で開催されました。

この講習会は、財団法人日本防火協会が地域における救命率向上策の一環として5年前から取り組んでおり、全国に約1万5千団体ある同クラブから毎年20団体を選び講習事業費を補助しています。

鎌ヶ谷市婦人防火クラブ（竹内久子会長、156名）は今年度初めて選ばれました。これまで2回の講習会で市内の同クラブ員、一般の主婦ら約70名が受講し、同市西道野辺の鎌ヶ谷橋自治会館で自治会の同クラブ員30名が、同市消防局から派遣された救急指導員の指導を受けました。

応急手当の基礎知識に関するビデオを観賞後、さっそく実技を行いました。同協会から贈られた最新型の人形などを使い、気道確保、人工呼吸法、心臓マッサージに至る心肺蘇生法や止血法を学びました。

ここ数ヶ月で台風や地震などの災害が続発したせいもあって、受講者の表情は真剣そのもの、熱心に質問していた在宅ヘルパーの橋本英子さんは、「地震もあってこうした技術を身近に感じる。こういう場面に遭遇した場合は恐れずやってみたい」と話していました。

約3時間の講習会後には、全員へ普通救命講習の修了証が交付されました。

終了後、炊き出しボランティアで新潟県中越地震の被災地へ向かうという竹内会長は、「この経験がいざというときの地域の安全につながれば」と期待を込めていました。



[▲ このページの上に戻る](#)

長崎県 沓岐市消防本部

10月29日（金）から31日（日）までの3日間、「婦人防火クラブ員救急講習会」が沓岐市において開催されました。

救急講習会は4回に分けて行われました。10月29日（金）午後6時からクオリティライフセンターつばさで行われた講習には塩谷、瀬戸、湯岳婦人防火クラブ、30日（土）午後6時から沓岐文化ホールでの講習では元居、初瀬婦人防火クラブ、31日（日）午前9時30分から大島公民館での講習では大島、長



島、原島婦人防火クラブ、31日（日）午後2時から石田農村環境改善センターでの講習では久喜東部、久喜西部、山崎婦人防火クラブのクラブ員計106名が参加しました。

救急講習状況（崎長救急救命士による説明）

救急救命士による説明の後、班ごとに分かれての実技講習が行われました。人形を使っての2人1組での傷病者に対する気道確保、人工呼吸法、心臓マッサージに至る心肺蘇生法や止血法などを学びました。

また、大島会場では壱岐市婦人防火クラブ連絡協議会会長、長崎県婦人防火クラブ連絡協議会会長のあいさつもあり、台風、地震などの災害が続いたこともあって、参加者は真剣な表情で話に聞き入っていました。



壱岐文化ホール会場での婦人防火クラブ員集合写真



2人1組での傷病者にたいする観察状況

[▲ このページの上に戻る](#)

青森県 十和田地域広域事務組合消防本部

十和田地域広域事務組合消防本部管内婦人防火クラブ連絡協議会が「婦人防火クラブ員救急講習会」モデル地区に指定され、10月28日（水）、11月10日（水）、25日（木）の3回にわたり、六戸町、十和田湖町、十和田市において開催実施され、延べ99名の方々に受講していただきました。



特に、六戸町において実施された最初の講習会には、日本防火協会から渡辺総務課長補佐並びに青森県婦人防火クラブ連絡協議会の竹内会長のご出席をいただく中で開催できました。

竹内会長からは「家庭を守りながら地域防災のため活動しているクラブ員の皆様が、今日の講習会で応急手当の重要性を理解し、知識・技術を習得され、地域の方々にその重要性を広めていただくよう期待します。」と激励があり、受講者はそれぞれ真剣に取り組んでいました。

アンケート調査では、ほとんどの人がもう一度受講したいという感想を述べており、今後の応急手当の普及推進が図られていくものと確信でき、大盛會に終了することができました。



福島県 相馬地方広域消防本部

救命法を学ぶ

飯館村婦人消防隊員を対象にした救急講習会は11月11日（木）から始まりました。

講習会は日本防火協会、救急振興財団、飯館村婦人消防隊の主催で、初日は飯樋町集会所で開かれました。

飯館村婦人消防隊の高橋美佐子隊長と管野典雄村長があいさつし、日本防火協会の水村昇振興部兼業務部課長補佐、県女性防火クラブ連絡協議会の遠藤瞳会長（東和町）のあいさつも行われました。

河村幸一郎救急救命士（原町消防署飯館分署）らが講師を務め、まず河村さんが救命救急の重要性について講話しました。人形などを使った実技では、約40名の婦人消防隊員が万一の際に役立つ心肺蘇生法をしっかりと身につけました。

講習会は11月21日（日）白石集会場、11月28日（日）村公民館でも開催されました。



原町消防署飯館分署長 あいさつ



普通救命講習会の状況



心肺蘇生法の効果確認状況

島根県 雲南市消防本部

10月17日（日）、24日（日）と婦人防火クラブ救急講習会（普通救命講習）が開催されました。10月17日（日）9時から木次町消防本部会議室において行われ、上熊谷地区婦人防火クラブの35名が参加、同日同時刻、仁多分署会議室においての救急講習会には、三沢女性防火クラブ20名、堀婦人防火クラブ15名の計35名の参加で開催されました。

10月24日（日）は9時から、木次町消防本部会議室において行われ、中山団地女性防火クラブ20名、旭町分館女性防火クラブ15名の計35名の参加者がありました。

実技講習では人形を使っての気道確保、人工呼吸法などを学びました。台風、地震などの災害が続いたこともあって、参加者は真剣な表情で話に聞き入り、講習に参加しておりました。

この講習会は、財団法人日本防火協会が地域における救命率向上策の一環として5年前から取り組んでおり、全国に約1万5千団体ある同クラブから毎年20団体を選び講習事業費を補助しています。





[▲ このページの上に戻る](#)

目次

- [1.新春のご挨拶](#)
- [2.平成16年度婦人防火クラブ連絡協議会幹部地域研修会報告（近畿ブロック）](#)
- [3.婦人防火クラブ救急講習会（鎌ヶ谷・沓岐・十和田・飯舘村・雲南）](#)
- [4.平成16年（1月～9月）における火災概要](#)
- [5.地方からの便り](#)
- [6.あなたも危険物取扱者・消防設備士に](#)
- [7.日本防火協会からのお知らせ](#)
- [8.「メールマガジン創刊によせて」](#)